

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中澤 和久
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費					
	事業	010000 生涯学習推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 				<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体等とタイアップしながらまちづくりについて、協議や検討を加える。 ・地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 ・地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ・須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携

指標名	出前講座の延べ受講者数				
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標	3,000	4,000	5,000	6,000
	実績				8,000
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ。				
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決算	令和3年度 予算
事業費		11,808	14,299
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	74	75
一般財源		11,734	14,224
人員数(人)	正規職員	3.3	3.3
	嘱託職員	2.0	2.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	22,994.4	22,994.4
	嘱託職員	6,298.0	6,298.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	29,292.4	29,292.4
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		41,100.4	43,591.4

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	922	講師謝礼396、謝礼109、記念品代417
10節 需用費	3,242	消耗品費1,549、食料費11、印刷製本費1,682
12節 委託費	110	映像編集委託料110
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	271	長野県社会教育委員連絡協議会負担金等21、婦人会補助金250
その他	7,263	職員人件費等7,263

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,448	講師謝礼645、謝礼253、記念品代外550
10節 需用費	3,493	消耗品費1,257、食料費51、印刷製本費2,185
12節 委託費	505	委託料505
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	516	負担金66、補助金450
その他	8,337	職員人件費等8,337

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、生涯学習によるまちづくりや地域づくりを引き続き進めた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	コロナ禍ではあったが、住民の課題解決の方策として生涯学習を推進することは有効。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインによる会議、研修会への参加、また、オンラインによる講演会を実施し経費の節減を図った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新型コロナウイルス感染症の影響により中止する講座もあったが、感染防止対策を講じて、オンラインによる講演会等工夫して事業を実施した。しかし暫くの間は、新型コロナウイルスへの感染対策を考慮した事業計画が必要となる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
-----------	------------

総合評価コメント

学びを基礎とした「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を進めるとともに、他課等との連携を進める。

2次評価コメント

生涯学習は市民力の維持と成長に不可欠であり、これまでの取組を糧に拡大する必要がある

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--